環境共生地域学特論実験（2 単位）

担当者氏名　　上岡洋晴

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

特論で学んだ研究方法論を基盤としつつ、実際に保健・医療・福祉・教育の現場で取り組まれている事業や実践活動を視察することにより、実学として、いかに研究成果を各現場に反映させるかを学ぶ。最終的には、自身の研究と保健・医療・福祉・保健との関係性をオーバー・ビューできる能力を身につけることを到達目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

健康　　保健　　医療　　福祉

教育　　Quality of Life

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	保健事業事例の視察（第 1-4 週）	特定検診やそれに基づく保健指導などの保健事業や、介護予防事業、自殺予防事業などを視察する。	実務経験者の説明や事業を視察した後、質疑応答を行う。実際の現場を視察し、実学のあり方を考究する。予習・復習は共に、それぞれ少なくとも 1 時間は行うべきである。
2	地域医療の視察（第 5-6 週）	地方における地域医療は重要であり、病院・診療所などの連携システムや、独自の取り組みを視察する。	
3	福祉事業事例の視察（第 7-10 週）	介護福祉施設や介護保健施設などを視察する。	
4	生涯学習事例の視察（第 11-14 週）	生涯学習や生涯スポーツに積極的に取り組んでいる事例を視察する。	
5	総合討論	自身の研究における実学の意味をすべての視察を踏まえて考究する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

とくになし。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

講義の際に随時紹介する。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

課題レポート及び授業中のディスカッションにより総合的に評価する。

◆オフィスアワー

通年で、毎週月曜日と木曜日の終日は研究室で、その他はメールで質問を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

自分の研究が、直接的・間接的にどのように社会に貢献しうるかを常に考えてほしい。